

小佐野記念財団助成金実績報告書（HP掲載用）

1. 事業名

甲府市内での「国際親善試合」に招待し交流試合、ならびにホームステイを通しての文化交流事業

2. 事業主体（個人名又は団体名）

国母野球スポーツ少年団

3. 事業実施日・場所

令和6年8月4日～8月8日
甲府市・市川三郷町周辺

4. 事業の目的

楊心小学校野球部の団員を甲府市の家庭にホームステイ、ならびに甲府市にて開催される『国際親善試合』に招待し交流試合を行う。交流を図るとともに、国際交流の基礎を築くことを目的とする。

5. 事業の実績内容（概要と事業状況写真を添付）

台湾桃園市の楊梅區楊心國民小學校野球部を招待し、令和6年8月4日から8月8日の4泊5日の日程で山梨県甲府市に滞在していただき、野球とホームステイを通して文化ならびにスポーツの交流を図りました。

・野球交流活動

楊心小学校野球部の団員と合計4試合行いました。

・ホームステイ事業

楊心小学校野球部の団員14名を各家庭二人一組でホームステイを受け入れ、日常生活の文化や習慣の違いを肌で感じていただきました。

昇仙峡の観光や市川三郷町にて神明の花火大会を一緒に観覧し日本文化を体験していただきました。

さよならパーティーも開催し楊心小学校野球部の選手、父兄、役員と一緒に異文化交流も致しました。

6. 事業の効果

小学生の時に外国人との文化の違いや国際交流を行うことにより異文化への興味や関心が高まったと思います。

また、今回お世話になった台湾の方々とは SNS などを通じ、今後も交流が続いていくと思います。

・来日・訪問



・昇仙峡観光



・神明の花火大会鑑賞



・野球交流



・ホームステイ



小佐野記念財団助成金実績報告書（HP掲載用）

1. 事業名

令和6年度富士河口湖町姉妹都市中学生派遣交流

2. 事業主体（個人名又は団体名）

富士河口湖町国際友好都市交流実行委員会

3. 事業実施日・場所

派遣期間 令和6年8月20～26日

場所 姉妹都市ツェルマットを中心としたスイス国内

4. 事業の目的

姉妹都市締結しているスイスのツェルマットへ中学生を派遣し、他国の文化や生活習慣、生きた外国語に触れることで国際感覚を養い、多文化共生社会を担う人材を育成するもの。また、日本文化や富士河口湖町の紹介等を行い、両町村の相互理解と交流を図ることを目的とし行うもの。

5. 事業の実績内容（概要と事業状況写真を添付）

派遣先：ツェルマットを中心としたスイス国内

派遣期間：令和6年8月20～26日（5泊7日）

派遣人数：町内在住中学生15名

参加中学生は、ツェルマットで現地の学校を訪問し、日本や富士河口湖町について発表を行ったり、ホームステイや現地の中学生たちとのスポーツを通じた交流やハイキングなどの交流プログラムに参加したりした。また、ツェルマット村内にある姉妹都市のモニュメントの除幕式にも参列した。





6. 事業の効果

事前研修成果発表では、参加者 15 人が 4 班に分かれスイス及びツェルマツトについて報告し、事前に調べ、学んだことを団長や保護者等関係者に対し、発表を行った。

帰国後は報告会を実施し、派遣交流プログラムの行程や交流での気づき、学びについてプレゼンテーションを行った。食生活や家の造り、交通手段などスイスと日本の生活様式の違いや、日没時間の違いなど自然環境の違いが発表された。また、本事業の参加者からは「さらに英語の学習に励みたい」という感想があがった。

5 泊 7 日の派遣及び事前事後学習を経て、参加者の異文化への関心が高まったことがうかがえた。

小佐野記念財団助成金実績報告書（HP掲載用）

1. 事業名

山梨県忠清北道姉妹県道経済交流事業

2. 事業主体（個人名又は団体名）

山梨県日韓親善協会

3. 事業実施日・場所

令和6年10月17日～20日

韓国・忠清北道

4. 事業の目的

協会の活動方針である忠清北道との民間交流を推進させるため、山梨県とともに忠清北道を訪問し、現地の経済関係者との交流を通じて、経済交流を活性化させる。

5. 事業の実績内容（概要と事業状況写真を添付）

① 韓日親善忠清北道協会との意見交換、MOUの締結

韓日親善忠清北道協会の役員と顔合わせ、今後の交流について懇談。
その後、MOUを締結。

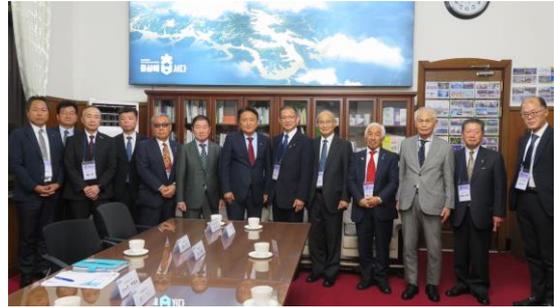
② 忠清北道庁と今後の交流に向けた意見交換

山梨県の忠清北道知事の表敬訪問に同席し、経済交流の取組について意見交換し、民間交流への協力依頼を実施。

③ 道内視察（企業、化粧品エキスポ等）

以下の施設等の視察を実施。

- ・大熊製薬五松cGMP工場
- ・五松化粧品ビューティ産業エキスポ
- ・五松先端医療産業振興財団
- ・青南台
- ・文義文化財団地



6. 事業の効果

韓日親善忠清北道協会と「相互交流協力に関する基本合意書」の締結式を実施し、今後の経済交流について、経済団体が中心となって動いていくことを確認した。

小佐野記念財団助成金実績報告書（HP掲載用）

1. 事業名

INTERNATIONAL FRIENDLY MATCH IN YAMANASHI (IFMY)

2. 事業主体（個人名又は団体名）

特定非営利活動法人バスケットボールスターズ

3. 事業実施日・場所

2024年10月4日～7日

4. 事業の目的

“Kaha Basketball”（ニュージーランドのバスケットボールチーム）と山梨県内の中学生・高校生による親善試合や文化交流

5. 事業の実績内容（概要と事業状況写真を添付）

2024年10月4～7日に“Kaha Basketball”（ニュージーランドのバスケットボールチーム）を招いて山梨県の中学生・高校生と親善試合や文化交流を実施した。Kaha Basketballはニュージーランド・ブレナム州のチームで、今回が初めての日本訪問であった。32名のメンバー（高校1～3年選手22名、コーチ3名、マネージャー7名）がホテルクラウンヒルズ甲府に宿泊しながら、甲府東高校・日川高校・東海大甲府を訪れ、学校施設の見学をしたり、実際にホームルームに参加するなどして日本の高校の様子を学んだ。また、山梨県内の高校のバスケットボール部やバスケットボールスターズ（Bスターズ）などと親善試合を行い、選手間の親交を深めると同時にチーム力の強化を図った。試合の前にはこの遠征のために準備をしたハカを披露し、参加した日本の選手たちは目の前でその踊りを見ることができた。県立図書館の多目的ホールで交流の時間も設け、自己紹介やゲームを英語で行い、全員がお互いのことを良く知ることができ親交を深めることができた。この事業を通してKaha Basketballのメンバーはバスケットボールだけでなく、日本や山梨のことをよく知ることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができた。



甲府東高校でのホームルームでの交流



親善試合後の全員集合写真



県立図書館での交流会



交流会終了後の集合写真



試合前にハドルを組む様子



親善試合でプレゼントを渡す様子

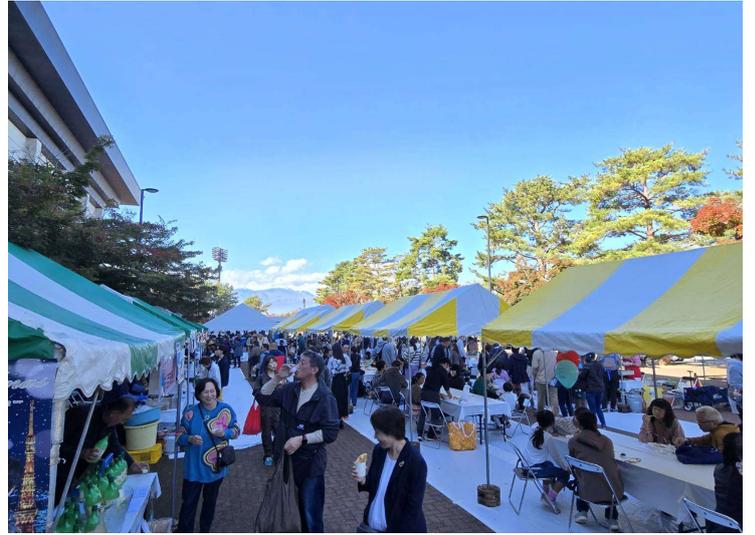
6. 事業の効果

選手の中には日本にルーツを持つ選手もおおり、将来的には再び日本を訪れてみたいという声を多く頂いた。将来的には山梨の選手がニュージーランドへ渡航し、現地でスポーツ・文化交流をすることも計画中である。今後はさらに内容を充実させて、山梨県から世界へ羽ばたく選手を増やし、国際交流を深化させていきたい。

小佐野記念財団助成金実績報告書（HP掲載用）

1. 事業名：2024山梨コリア祭り
2. 事業主体（個人名又は団体名）：在日本大韓民国民団山梨県地方本部
3. 事業実施日・場所：小瀬スポーツ公園 体育館北側スペース
4. 事業の目的：山梨民団では、在外同胞財団と駐横浜大韓民国総領事館の後援の下、山梨コリア祭りを実施する。そのプログラムには韓国国技「テクォンド」演武を始め、K-POP アイドルによる韓国文化・芸術を山梨県民へお伝えすると同時に、多彩な韓国料理がお披露目され食文化も体験できる。この山梨コリア祭りを通じて民間交流活動の強化及び地元社会に貢献し、地元住民との共生に寄与することを目的とする。
5. 事業の実績内容（概要と事業状況写真を添付）：別紙1
日本航空高校「太鼓隊演奏」
モノマネ芸人「翔子」
K-POP男性アイドル「YUMENITY」
韓国国技「テコンド演武」
お笑いタレント「B'ず軍団」
K-POP女性アイドル「SATURDAY」
6. 事業の効果：コリア祭りを通じて韓日文化交流が活気付き山梨県内の地元住民と在日韓国人の和合の場が形成された。韓国の K-POP アイドルや日本の芸能人を出演させ、両国の芸術文化を体験し相互理解を深めた。また、こうした民間レベルの韓日文化交流イベントは、韓日友好の雰囲気を高めた。

別紙1 (事業状況写真)



別紙2 (事業状況写真)



小佐野記念財団助成金実績報告書（HP掲載用）

1. 事業名
国際シニアサッカー大会
2. 事業主体（個人名又は団体名）
湯村温泉旅館協同組合
3. 事業実施日・場所
令和6年11月9日～令和6年11月10日
山梨学院和戸グラウンド 敷島総合公園 常磐ホテル
4. 事業の目的
サッカーを通じた国際交流。
日本遺産の昇仙峡へのツアー実施
県内名産品を紹介
外国人選手に湯村温泉や山梨県の魅力を大いにアピールする機会とする
5. 事業の実績内容（概要と事業状況写真を添付）
11月9日（山梨学院和戸グラウンド）
午前9：00～午後3：45 全6試合実施
11月10日（敷島総合公園）
午前9：00～午後3：45 全7試合実施
11月10日
試合の合間を利用し、外国人選手と家族希望者を募り、昇仙峡観光実施
ロープウェイ乗車や散策を楽しむ
11月10日（常磐ホテル）
午後7：00～午後9：00 歓迎レセプション開催
甲府市長歓迎挨拶と表彰式実施
箏曲演奏、日舞、学生チアリーディング披露
会場内にブースを設置し、県内名産品を紹介





6. 事業の効果

単にサッカー大会を開くだけでなく、観光、名産品の紹介を織り交ぜることによって、タイ、香港、マレーシアからの選手にとっては、より親しみやすく魅力的な海外旅行となった。今後のインバウンド誘客は、このように、観光以外のプラスアルファが効果を大きく左右すると言える。また、歓迎レセプションパーティは、チーム同士が交流を深める場となり、大会を継続すればリピーター参加選手が増えることが予想される。さらに会場内に県内名産品ブースを設け、紹介、試食をさせることで多くの海外選手の興味を引きブースの効果はあった。

小佐野記念財団助成金実績報告書（HP掲載用）

1. 事業名

フランス ボージョレー地区と北杜市の連携に向けての視察事業

2. 事業主体（個人名又は団体名）

シェフズバル実行委員会

3. 事業実施日・場所

実施日：2024年11月19日（火）～29日（金）

場所：フランスのボージョレーエリア一体を中心に近隣エリアであるリヨン、パリを視察

4. 事業の目的

地域創生の一環としてフランスのボージョレー地区の首都であるヴィルフランシュ・ソーヌと北杜市の将来的な連携に向け、民間レベルの交流をはかり具体的な国際交流の礎になるための視察事業。

5. 事業の実績内容（概要と事業状況写真を添付）

北杜市とボージョレー地区の首都であるヴィルフランシュ・ソーヌは共にユネスコ登録がされる（ヴィルフランシュはユネスコ世界ジオパーク認定）自然環境豊かな土地であり、「ボージョレーヌーヴォー」として知名度のあるワインの一大生産地。

北杜市で地域の閑散期の活性化と食文化の継承を趣旨として2018年から続く食のお祭り「シェフズバル」と「ボージョレーのワイン祭り」で今後国際交流をスタートさせることを軸に先方の文化を知る最初の視察として本事業を行った。多数のワイナリー、関連する畑、観光協会や商工会等の団体と意見交換、国際マラソンの視察、地域の食文化体験を主に行った。今後は食の祭りを皮切りに、①文化交流の促進：両地域の文化や伝統が交換されることで、互いの歴史や生活様式への理解が深まり、国際的な友情と協力が育まれること。②観光業の活性化：国際交流を通じて、両地域を訪れる観光客が増加し、ワイン愛好家や文化体験を求める旅行者にとって双方が魅力的な目的地になること③教育プログラムの共同開発：学生や若者を対象とした交流プログラムや研修プログラムが開発されることで、国際的な視野を持つ次世代を育成すること上記の三点を軸に国際交流を推進するため、現地視察を行いヴィルフランシュ側の市役所や関係者と様々な意見交換を行った。

また、ヴィルフランシュソーヌと姉妹都市を締結しているイタリア等の各国代表団とともに、日本視察団として「ボージョレーヌーヴォー祭り」に招待を受け参加をした。



- ① ヴィルフランシュヌーヌ市長へ平山郁夫氏の描いた北杜市から見た富士山を友好の証として贈呈。
- ② ボージョレーヌーヴォー祭りファイナルのプロジェクトマップを視察
- ③ ボージョレーヌーヴォー祭りオープニングセレモニーにて日本からの視察団として紹介



- ④ ボージョレー地区観光協会関係者の開催する新酒解禁祝いへ参加
- ⑤ 地元スーパーの視察。農業大国フランスにおける発酵食品（チーズ）等の商品を見学
- ⑥ ボージョレー地区のワイン用ブドウのメイン品種「ガメイ」畑を視察、日本食とのマリアージュについて意見交換

6. 事業の効果

事業を通じ実際に現地を訪れたことで、ボージョレー地区と北杜市があらゆる点で親和性があることを実感してきた。東京、パリという中心地との距離感、農業生産が盛んなこと、地域の食文化を大切に継承されていること。自然景観の美しさと安全な街であること。そしてボージョレー地区の商工業、観光業、役所関係者と様々な意見交換ができたことで、2025年中を目途にフランスからの視察団を受け入れることについても対話できたことは大きな成果と考える。まずは互いの文化交流を通しつつ、ワイン県としての山梨県のPRと、北杜市の美食祭をボージョレーヌーヴォー祭りとコラボレーションすることを念頭に継続的な交流を図っていく繋がりができたことは地域の発展に寄与できると考える。